



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月30日

上場会社名 積水樹脂株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4212 URL <https://www.sekisuijushi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 CEO (氏名) 福井 彌一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 菊池 友幸 TEL 06-6365-3204  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	13,013	△10.6	1,706	△9.1	2,031	△2.3	1,260	△2.6
2020年3月期第1四半期	14,550	2.0	1,876	3.0	2,078	3.4	1,294	5.5

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 2,421百万円 (130.1%) 2020年3月期第1四半期 1,052百万円 (△23.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	29.08	—
2020年3月期第1四半期	29.12	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	127,763	103,037	79.6
2020年3月期	129,997	101,793	77.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 101,722百万円 2020年3月期 100,432百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	24.00	—	26.00	50.00
2021年3月期	—				
2021年3月期（予想）		25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

(注) 2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当24円 特別配当2円

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	27,200	△12.8	3,650	△11.4	4,050	△8.0	2,660	△8.8	61.33
通期	59,600	△12.0	9,200	△11.1	9,700	△10.7	6,640	△7.4	153.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細につきましては、本日公表の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	47,313,598株	2020年3月期	47,313,598株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	3,954,535株	2020年3月期	3,954,086株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	43,359,204株	2020年3月期1Q	44,441,247株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記業績予測は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予測値と異なる可能性があります。なお、業績予想につきましては添付資料の3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期のおわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大を受けて政府より発令された緊急事態宣言による休業要請や外出自粛要請が企業活動や個人消費を大きく収縮させるとともに、世界経済も各国政府が感染拡大防止の緊急措置を講じたことで急激に停滞するなど、予断を許さない状況で推移いたしました。

このような経営環境下において、当社グループは、従業員の安全を最優先としたうえで、感染拡大を抑えながら事業活動を両立させるという方針のもと、マスク着用・手洗い・アルコール消毒や事業所での飛沫防止などの感染予防対策を徹底するとともに、状況に応じて時差出勤制度や在宅勤務制度を活用し、事業活動を推進しております。

当第1四半期においては、自然災害に対する防災・減災対策、居住地域での騒音対策や交差点・通学路における歩行者の交通安全対策など、社会の課題解決に向けた付加価値の高い製品の総合提案に継続して取り組むとともに、新型コロナウイルスと共存する社会における新たな課題解決に向けて、ソーシャルディスタンス対策製品、飛沫防止対策製品などの新製品を開発・販売いたしました。

一方、高騰を続ける輸送費に対応するべく、配送方法や物流拠点の見直しをはじめとする配送の効率化に取り組むなど、収益性を最重視した事業経営を推進するとともに、新型コロナウイルス対応で得た経験を活かし、働き方改革の好機ととらえて業務変革に取り組むなど、グループを挙げて、時代・環境の変化に対応した事業活動を展開しております。

当第1四半期の連結業績は、コロナ禍による消費活動の低迷や物件の延期、また、前期に受注した標識関連大口物件の反動減などの影響を受け、売上高は130億1千3百万円（前期比10.6%減）、営業利益は17億6百万円（前期比9.1%減）、経常利益は20億3千1百万円（前期比2.3%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億6千万円（前期比2.6%減）となりました。

事業概況は以下のとおりであります。

**交通・景観関連製品：**防音壁材は、高規格道路における更新需要の増加により好調に推移いたしました。交通安全製品は、生活道路におけるカーブミラーが設置物件の遅延影響により前年同期を大きく下回った一方で、電子表示でドライバーに情報を伝える「オプトマーカー」が、交通事故危険箇所や集中豪雨時の冠水対策に採用され売上に寄与するとともに、車線分離標「ポールコーン」が高規格道路での受注を増やすなど、前年同期並みに推移いたしました。防護柵製品は、車両から歩行者を守る交差点安全対策に車両用防護柵や車止めの総合提案が採用され、大きく伸ばいたしました。一方、路面標示材は、昨年の大口物件減少の影響を受け売上減を余儀なくされました。

**スポーツ施設関連製品：**グラウンド用人工芝は、オリンピック関連需要が一巡したことや新規物件の減少に対して、保守・メンテナンス物件に注力いたしましたものの、前年を大きく下回る成績となりました。テニスコート用人工芝は、テニスクラブの休業などが影響し、低調に推移いたしました。

**住建材関連製品：**メッシュフェンスは、施工性及びデザイン性が評価され戸建て分譲住宅向けに採用されたものの、コロナ禍の影響による物件の工期延期などが影響し、大幅な売上減となりました。めかくし塀は、地震による倒壊対策としてブロック塀改修用途の一巡により、前年同期を大きく下回る成績となりました。一方、防音めかくし塀は、居住地域における工場や保育園などの騒音対策に採用されるなど、堅調に推移いたしました。装飾建材は、インバウンド関連、レジャー施設関連及びイベント関連事業などの減速に伴い受注が減少するなど、売上減を余儀なくされました。

**総物・アグリ関連製品：**梱包結束用バンドは、政府の緊急事態宣言発令を受け、業務用食品や工業系など主力ユーザーの生産活動停滞による需要減少により、大幅な売上減を余儀なくされました。一方、ストレッチフィルム包装機は、物流効率化によるパレット輸送が増加傾向にあるなか、省人・省力化ニーズに対応した全自動機の導入が進み、好調に推移いたしました。アグリ関連製品は、農業資材が、昨年の台風災害などの復興需要増加に対し、農業ハウス関連資材の総合提案により売上を伸ばすとともに、園芸資材が、巣ごもり需要増加に伴う家庭向けの支柱製品が好評を博すなど、順調に推移いたしました。

**関連グループ会社製品：**橋梁などのコンクリート構造物の劣化や老朽化による剥落事故を防ぐコンクリート片剥落防止システムが、メンテナンス工事増加を背景に売上に寄与いたしました。標識関連製品は、前期の東北地区の高規格道路向け大口物件の影響を受け、大幅な売上減となりました。民間向けサイン製品は、顧客のニーズに対応した製品提案が評価され、前年を大きく上回る成績となりました。デジタルピッキングシステム製品は、ネット通販拡大のなか物流施設内での人手不足対策の需要を受け、好調に推移いたしました。組立パイプシステム製品は、飛沫防止対策製品などの新型コロナウイルス感染対策製品が引き合いを増やしましたものの、自動車分野の主要ユーザー向けが低迷し、前年同期を下回る成績となりました。アルミ樹脂積層複合板は、看板用途の製品がコロナ禍に伴うイベントや展示会の中止が影響し、大幅な売上減となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ2億3千3百万円減少し、1,277億6千3百万円となりました。このうち、流動資産は40億8千2百万円減少し、固定資産は18億4千9百万円増加しました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ3億4千7百万円減少し、2億4千7百万円となりました。このうち、流動負債は40億7千7百万円減少し、固定負債は6億円増加しました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1億2千4百万円増加し、1,030億3千7百万円となりました。純資産から非支配株主持分を控除した自己資本は1,017億2千2百万円となり、自己資本比率は79.6%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ6千1百万円増加(0.1%増)し、419億6千8百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益2億2千7百万円に加え、売上債権の減少等による資金増加の一方、仕入債務の減少や法人税等の支払等を行ったことにより14億9千9百万円の収入となりました(前年同期は14億9千7百万円の収入)。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得等により1億7千3百万円の支出となりました(前年同期は1億5千3百万円の支出)。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払等により1億8千1百万円の支出となりました(前年同期は1億9千8百万円の支出)。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染の収束が見通せず、多岐にわたる不確定要素があり、適正かつ合理的に業績への影響を算出することが困難と判断し未定としておりましたが、緊急事態宣言解除後、経済活動が徐々に再開し始めていることに加え当社グループの第1四半期の業況を踏まえ、業績予想を公表することといたしました。

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	41,906	41,968
受取手形及び売掛金	21,435	16,400
電子記録債権	4,941	5,157
商品及び製品	2,742	2,714
仕掛品	1,315	1,577
原材料及び貯蔵品	2,611	3,157
その他	1,340	1,227
貸倒引当金	△20	△15
流動資産合計	76,272	72,189
固定資産		
有形固定資産	14,947	14,759
無形固定資産	202	193
投資その他の資産		
投資有価証券	15,788	17,802
退職給付に係る資産	10	59
その他	23,049	23,030
貸倒引当金	△272	△271
投資その他の資産合計	38,575	40,620
固定資産合計	53,724	55,574
資産合計	129,997	127,763
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,578	12,264
短期借入金	1,300	1,300
引当金	988	426
その他	7,590	6,389
流動負債合計	24,458	20,380
固定負債		
役員退職慰労引当金	70	63
退職給付に係る負債	2,580	2,589
その他	1,095	1,692
固定負債合計	3,745	4,345
負債合計	28,204	24,726

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,334	12,334
資本剰余金	13,255	13,255
利益剰余金	75,932	76,064
自己株式	△4,362	△4,363
株主資本合計	97,160	97,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,568	4,909
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	39	△149
退職給付に係る調整累計額	△336	△328
その他の包括利益累計額合計	3,271	4,431
非支配株主持分	1,360	1,315
純資産合計	101,793	103,037
負債純資産合計	129,997	127,763

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	14,550	13,013
売上原価	9,970	8,720
売上総利益	4,580	4,292
販売費及び一般管理費	2,703	2,586
営業利益	1,876	1,706
営業外収益		
受取配当金	173	202
持分法による投資利益	11	89
その他	57	55
営業外収益合計	242	347
営業外費用		
支払利息	12	8
固定資産賃貸費用	10	8
その他	17	5
営業外費用合計	40	22
経常利益	2,078	2,031
特別損失		
固定資産除売却損	6	4
特別損失合計	6	4
税金等調整前四半期純利益	2,071	2,027
法人税等	763	750
四半期純利益	1,308	1,276
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,294	1,260



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,308	1,276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△260	1,339
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	8	△203
退職給付に係る調整額	△9	7
持分法適用会社に対する持分相当額	6	1
その他の包括利益合計	△255	1,145
四半期包括利益	1,052	2,421
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,034	2,419
非支配株主に係る四半期包括利益	18	1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,071	2,027
減価償却費	256	258
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△466	△478
売上債権の増減額 (△は増加)	4,089	4,797
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△485	△802
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,847	△2,296
その他	△466	△321
小計	3,153	3,183
利息及び配当金の受取額	188	213
利息の支払額	△15	△8
法人税等の支払額	△1,828	△1,889
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,497	1,499
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△271	△203
短期貸付金の増減額 (△は増加)	124	0
その他	△6	29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△153	△173
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	-	△0
配当金の支払額	△1,158	△1,129
その他	△40	△51
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,198	△1,181
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△82
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	139	61
現金及び現金同等物の期首残高	40,879	41,906
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,018	41,968

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	公共分野	民間分野	合計
売上高			
外部顧客への売上高	6,160	8,390	14,550
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	47	47
計	6,161	8,437	14,598
セグメント利益	736	1,267	2,004

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,004
全社費用(注)	△127
四半期連結損益計算書の営業利益	1,876

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに開発試験研究費の一部であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	公共分野	民間分野	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,461	7,551	13,013
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	44	44
計	5,461	7,596	13,057
セグメント利益	670	1,169	1,840

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,840
全社費用(注)	△133
四半期連結損益計算書の営業利益	1,706

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに開発試験研究費の一部であります。